

9割が看取り 今後も配置医継続が8割

医療行為の制限と24時間対応が課題

特別養護老人ホーム配置医アンケート集計結果

協会は7月30日に開催した特養配置医懇談会を前に、県内の特養配置医の先生方にアンケートを実施しました。今号では主な項目の集計結果についてお伝えします。

対象：『患者紹介ガイド』（協会発行）を基に特養配置医をされている94人に送付
回答：48人（回答率51%）

【集計結果概要】

【配置医について】

内科、外科、整形外科で全体の9割を超えています。また、60～70歳代が半数を超えており、7割以上の先生が5年以上の配置医の経験をお持ちです。

特養入所者以外への訪問診療について、行っているのは7割の一方、病院勤務やご高齢の先生は訪問診療を行っていない傾向が見られました。

【業務内容について】

定期的な訪問回数は、月4回（週1回程度）が4割弱、月5回以上が5割でした。3年前に協会が行ったアンケートでは月4回訪問が平均だったことから、訪問回数が増えている傾向があります。

また、緊急に呼ばれて特養に赴いた回数は、年間11回以上が一番多く4割でした。平均して月1回以上緊急に呼ばれている計算になります。

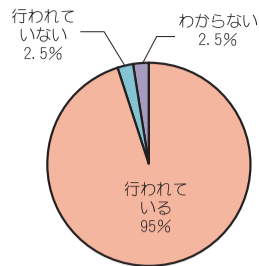
【入所者の看取りについて】

9割が基本的に配置医として看取りを行っており、1年間で平均9人、中央値で6人、入所者を看取っている実態が明らかになりました。また、看取りは協力病院で行う、多忙で余裕がないとの理由で行っていないとの回答もありました。

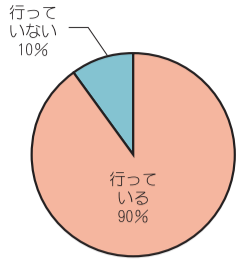
【現状・課題について】

配置医の仕事について負担や疑問を感じるが7割ありました。具体的には、特養での医療行為の制限（一部保険請求できないこと）、24時間365日対応のストレスの二つが多い理由となっています。

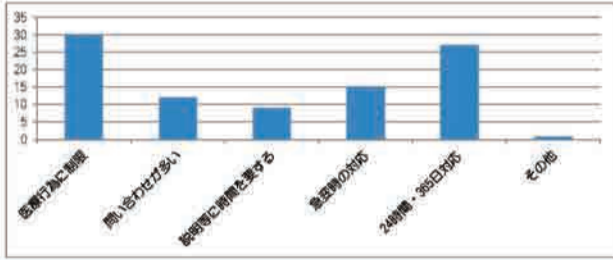
今後も配置医を継続されるかについては、使命感や社会的責任から8割が継続する予定と回答する一方、年齢、体力的問題、束縛の大きさやトラブルを理由に、2割が「辞めたい」「わからない」と回答しています。



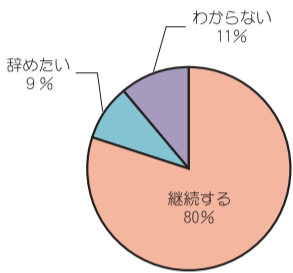
Q10. 家族との今後の対応（看取り含む）に関する話し合いは行われているか？



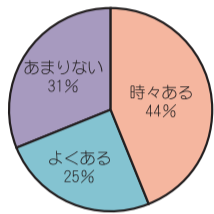
Q9. 特養入所者の看取りを行っているか？



Q11. 負担や疑問を感じることは、どのようなか？（複数回答可）



Q13. 今後も特養の配置医を継続するか？



Q12. 配置医の仕事を負担に感じたり、疑問に思うことはあるか？

知事が医療機関実態調査の実施を表明

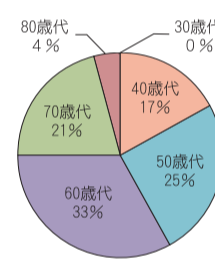
病床稼働率や在宅医療提供実績等を把握へ

県は九月十五日に開催された県議会一般質問において、地域医療構想の策定にあたり県内各医療機関の実態を把握する必要があるとして、全県的な調査を行う意向を表明しました。菅沢裕明議員（社民党）、浅岡弘彦議員（自民党）の質問に答えたものです。

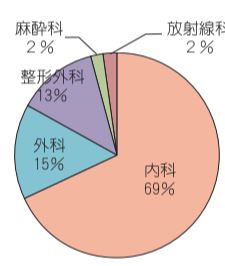
今年六月に、政府の専門調査会が二〇二五年の富山県内の病床数を現状から三割以上減少するとした推計結果を公表。六月県議会で石井隆一県知事は、この結果は大変大きな数字だとして、今回の国の推計方法について検証する必要があると述べていました。

今回、石井知事は県内医療機関の診療実績、病床稼働率や在宅医療の提供実績等について全県的な調査を行う意向を示し、複数の医療機関からヒアリングを行い調査の準備を進めていると答弁しました。また、県厚生部は県内の病床についても実際に稼働していないものもある他、現状の許可病床は医療機能ごとに明確に区分されていないため、各病院の実態を把握する必要があると説明しました。

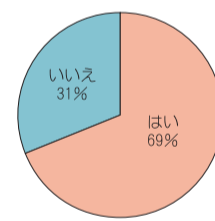
県内医療圏ごとの構想策定については、今後調整会議を設置するとし、地域の実情を踏まえた丁寧な議論を約束しました。



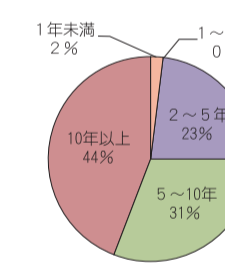
Q2. 年齢は？



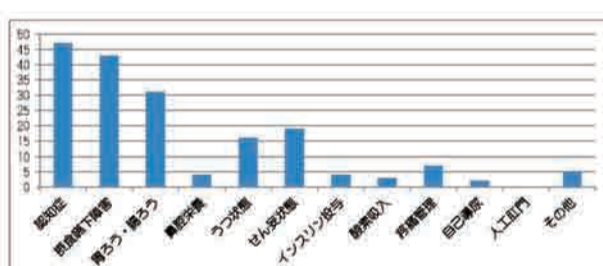
Q3. 配置医の担当年数は？



Q4. 特養入所者以外に訪問診療を行っているか？

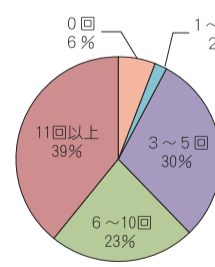


Q5. 特養入所者のうち、人数が多い「状態」は？（上位5つまで選択）



Q7. 緊急に呼ばれて特養に赴いた回数（最近1年間の数）は？

Q6. 定期的な訪問回数は？（往診除く）



Q8. 特養配置医が実際に担当されている業務は？（該当するもの全て）

日時 10月24日 (土) 午後2時～6時

会場 ボルファートとやま 2階 真珠の間

話題提供 認知症、BPSDへの対応

講演 富山県の地域医療構想について
富山県厚生部長 井内 努 氏

講演 今後の高齢多死社会と地域包括ケアシステム
日本福祉大学学長 二木 立 氏

ディスカッション これからの中小病院の生きる道

主催 富山県医師会 富山県保険医協会 全日本病院協会富山県支部
富山県慢性期医療協会 日本精神科病院協会富山県支部 エーザイ(株)

中小病院を活かす道シンポジウム

2015

(順不同)